

東京湾アクアライン管理事務所管内  
橋梁補修設計

特記仕様書

令和8年1月

東日本高速道路株式会社 関東支社  
東京湾アクアライン管理事務所

## 1 章 総則

### 1-1 適用

本特記仕様書は、東日本高速道路株式会社関東支社が実施する「東京湾アクアライン管理事務所管内 橋梁補修設計」（以下「本業務」という。）に適用するものとする。

### 1-2 調査等概要

#### 1-2-1 調査等名 東京湾アクアライン管理事務所管内 橋梁補修設計

#### 1-2-2 路線名

東京湾アクアライン連絡道（木更津金田IC～木更津JCT）  
首都圏中央連絡自動車道（茂原長南IC～木更津JCT）  
館山自動車道 千葉木更津線（木更津北IC～富津竹岡IC）  
館山自動車道 木更津南支線（木更津南JCT～木更津南終点）  
富津館山道路（富津竹岡IC～富浦IC）

#### 1-2-3 履行箇所

東京湾アクアライン連絡道（木更津金田IC～木更津JCT）  
自）千葉県木更津市中島 （K P 1 5 . 1）  
至）千葉県木更津市犬成 （K P 2 3 . 7）  
首都圏中央連絡自動車道（茂原長南IC～木更津JCT）  
自）千葉県茂原市石神 （K P 2 5 3 . 9）  
至）千葉県木更津市犬成 （K P 2 8 2 . 4）  
館山自動車道 千葉木更津線（木更津北IC～富津竹岡IC）  
自）千葉県木更津市笹子 （K P 6 1 . 0）  
至）千葉県富津市竹岡 （K P 8 7 . 2）  
館山自動車道 木更津南支線（木更津南JCT～木更津南終点）  
自）千葉県木更津市中島田 （K P 0 . 0）  
至）千葉県木更津市築地 （K P 3 . 9）  
富津館山道路（富津竹岡IC～富浦IC）  
自）千葉県富津市竹岡 （K P 8 7 . 2）  
至）千葉県南房総市富浦町 （K P 1 0 6 . 3）

#### 1-2-4 主な履行内容

設計種別	工種・細目・名称	数量	対象構造物
現地踏査		1式	坂戸市場高架橋 神納橋 神納高架橋 金谷第2高架橋 Bランプ橋 大帷子高架橋
腐食減肉調査		8箇所	
維持修繕設計	支承	1箇所	
	鋼桁補修	8箇所	
	施工計画	1橋	
工事発注用図面作成	既存図面電子化	12枚	
	図面修正A	19枚	
設計協議図面作成		2枚	
設計打合せ		1式	

### 1－3 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とする。

### 1－4 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1－12－4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、「登録内容確認システム」を用いて、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- （1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- （2）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- （3）完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。

なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、「登録内容確認システム」を用いて、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

### 1－5 履行期間

本業務は、共通仕様書1－13－1「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式－1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から360日間

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から60日間

### 1－6 資料の貸与

共通仕様書1－15－1「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表の調査等業務による成果品等である。

ただし、履行期間中の調査等業務について、その成果品等の貸与予定日は下表のとおりとする。  
 なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合は、別途監督員と協議するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
完成図書	各橋完成図	契約締結後貸与	電子データ (PDF等)
保全点検資料	—	契約締結後貸与	電子データ (PDF等)
設計報告書 ※坂戸市場高架橋	東京湾アクアライン連絡道 神納 I C 専用部高架橋(その 1) 詳細設計	契約締結後貸与	電子データ (PDF等)
	東京湾アクアライン連絡道 袖ヶ浦地区専用部高架橋(その 3) 詳細設計		
設計報告書 ※神納橋	東京湾アクアライン連絡道 神納 I C 専用部高架橋(その 2) 詳細設計	契約締結後貸与	電子データ (PDF等)
設計報告書 ※神納高架橋	東京湾アクアライン連絡道 神納第二高架橋基本詳細設計(その 1)	契約締結後貸与	電子データ (PDF等)
	東京湾アクアライン連絡道 神納第二高架橋基本詳細設計(その 2)		
設計報告書 ※金谷第 2 高架橋 B ランプ橋	富津館山道路 金谷第二高架(本線橋・A ランプ橋・C ランプ橋) 修正設計	契約締結後貸与	電子データ (PDF等)
設計報告書 ※大帷子高架橋	富津館山道路 大帷子高架橋詳細設計	契約締結後貸与	電子データ (PDF等)
設計成果品	東京湾アクアライン連絡道 神納地区耐震補強検討業務	契約締結後貸与	電子データ (PDF等)
	富津館山道路 大帷子地区耐震補強検討業務		

#### 1-7 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す、隣接又は関連の調査等業務については、下表のとおりとする。なお、履行期間中に変更が生じた場合は、監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関
富津館山道路 竹岡高架橋耐震補強検討業務	未定	未定	当社
富津館山道路 保田川橋耐震補強検討業務	令和7年10月4日～ 令和8年4月1日	(株)日本構造 橋梁研究所	当社

#### 1-8 部分引渡し

契約書 38 条の「指定部分」及びその引渡し時期は下表のとおりとする。

指定部分	橋梁名	引渡し時期
維持修繕設計 支承	金谷第 2 高架橋 B ランプ橋	令和9年1月
維持修繕設計 施工計画		
工事発注用図面作成		
既存図面電子化		
設計協議図面作成		

## 1－9 部分使用

共通仕様書 1－35 「部分使用」の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	橋梁名	使用理由	使用開始時期
工事発注用図面作成 既存図面電子化	坂戸市場高架橋 神納橋 神納高架橋	別途工事の工法変更資料に 使用するため	令和8年12月
工事発注用図面作成 図面修正 A			

## 1－10 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本調査等業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1－16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。

また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無及び完了予定時期を変更する場合がある。

### (1) 道路関係

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定
K P 18.712付近	国道409号	国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 木更津出張所 *坂戸市場高架橋～神納橋 路下	施工時制約範囲確認 施工時占用協議	—
K P 19.000付近	国道16号	国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 木更津出張所 *神納橋 路下	施工時制約範囲確認 施工時占用協議	—
K P 19.295付近	国道410号	千葉県 君津土木事務所 *神納橋～神納高架橋 路下	施工時制約範囲確認 施工時占用協議	—
K P 95.900付近	町道 川向江月線	鋸南町 建設水道課 *大帷子高架橋 路下	施工時制約範囲確認 施工時占用協議	—

### (2) 河川・水路関係

位置	河川名	管理者名	必要な協議	協議完了予定
K P 96.000付近	準用河川 七面川	鋸南町 建設水道課 *大帷子高架橋 路下	施工時制約範囲確認 施工時占用協議	—

### (3) 鉄道関係 なし

### (4) 電力、通信施設関係

位置	種類	管理者名	必要な協議	協議完了予定
坂戸市場高架橋 神納橋 神納高架橋 金谷第2高架橋 Bランプ橋 大帷子高架橋	光通信・メタル通信・ 電源ケーブル	KDDI (株) 東日本高速道路 (株)	施工時制約範囲確認 移設等協議	—

## 1-1-1 計画工程表

### 1-1-1-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-1-4-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表(様式-2) の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-6 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」に基づく照査の実施時期及び共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種別	工種	対象構造物	備考
現地踏査			
腐食減肉調査		坂戸市場高架橋	
維持修繕設計	支承	神納橋	
	鋼桁補修	神納高架橋	
	施工計画	金谷第2高架橋	
工事発注用図面作成	既存図面電子化	Bランプ橋	
	図面修正A	大帷子高架橋	
設計協議図面作成			

### 1-1-1-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-2-2 「打合せ」の実施時に、計画工程表に作業の実施状況を記載し、監督員に報告するとともに、調査等打合簿(共通仕様書様式第 1-4 号)に添付するものとする。

なお、受注者は、前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-2-9-1 に準じた協議のうえ、必要に応じ共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。

### 1-1-2 打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1-2-2 「打合せ」にあたっては、打合せ前に打合せ項目を整理すると共に、打合せ終了後、速やかに調査等打合簿(共通仕様書様式第 1-4 号)を作成し、監督員に記載事項についての確認を得るものとする。

また、清書・押印した調査等打合簿は、打合せ後 7 日以内スキャンニングの上、監督員に電子メールにより伝達するものとする。

監督員は、伝達のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内に受領欄に押印したうえで、受注者に電子メールで返送のうえ、保管するものとする。

### 1-1-3 工事記録情報の作成及び提出について

(1) 共通仕様書 1-4-4-1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 6 年 7 月版とする。

(2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」(様式-3)を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

(3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路(株)関東支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

#### 1-14 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

## 2章 業務の細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は、東京湾アクアライン管理事務所管内の橋梁において損傷状況を本特記仕様書1-6「資料の貸与」に示す貸与資料をもとに確認し、「設計要領第二集（橋梁保全編）」に基づき、既設橋梁の設計条件を整理し、当該現地条件において施工性、経済性の観点から補修設計及び補修工法の選定、施工計画検討を行うものである。また、設計にあたっては、共通仕様書第5章「設計」及び第7章「維持修繕設計」の適合項目を適用する。

### 2-2 適用すべき諸基準

共通仕様書5-2-1「適用すべき諸基準」に下表を追加する。

名称	発行元	発行年月
工期設定ガイドライン（共通編）	東日本高速道路㈱	令和7年7月
工期設定ガイドライン（橋梁編）	東日本高速道路㈱	令和7年7月
腐食減肉に対する鋼橋の維持管理マニュアル	東日本高速道路㈱	令和6年7月
調査要領	東日本高速道路㈱	令和7年7月
土木設計数量算出要領	東日本高速道路㈱	令和7年7月
設計要領第二集（橋梁保全編）	東日本高速道路㈱	令和7年7月

### 2-3 設計構造物の内容

本業務における、既設構造物の形式等の内容は、下表のとおりである。

対象橋梁	上下区分	適用道示	上部工	下部工					支承	基礎工
			構造形式	下部工No.	高さ(m)	支承条件	構造形式	耐震補強形式 (予定)	構造形式	構造形式
坂戸市場高架橋	上下	I～IV H6.2 VH2.2	鋼(4+3+3)径間連続非合成箱桁橋 L=520.0m	P53	9.2	M	壁式	-	B P 沓	場所打杭
				P54	9.5	F	壁式	R C 巻立	B P 沓	場所打杭
				P55	10.1	F	壁式	R C 巻立	B P 沓	場所打杭
				P56	10.6	F	壁式	R C 巻立	B P 沓	場所打杭
				P57	11.2	M	壁式	-	B P 沓	場所打杭
				P58	14.2	F	鋼製ラーメン式	-	B P 沓	場所打杭
				P59	14.9	F	鋼製ラーメン式	-	B P 沓	場所打杭
				P60	15.6	M	鋼製ラーメン式	-	B P 沓	場所打杭
				P61	14.1	F	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
				P62	14.8	F	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
				P63	15.5	M	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭

神納橋	上下	I～IV H6.2 VH2.2	鋼3径間連続非合成箱桁橋 L=168.0m	P63	15.5	M	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
				P64	15.0	F	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
				P65	14.5	F	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
				P66	14.3	M	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
神納 高架橋	上下	I～IV H6.2 VH2.2	鋼(5+5)径間連続 非合成鉄桁橋 L=409.0m	P4	14.2	M	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
				P5	14.2	M	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
				P6	15.0	F	柱式	R C 巻立	B P 沓	場所打杭
				P7	13.5	F	柱式	R C 巻立	B P 沓	場所打杭
				P8	14.0	F	柱式	R C 巻立	B P 沓	場所打杭
				P9	13.3	M	鋼製ラーメン式	隅角補強	B P 沓	場所打杭
				P10	14.1	F	鋼製ラーメン式	－	B P 沓	場所打杭
				P11	13.7	F	鋼製ラーメン式	－	B P 沓	場所打杭
				P12	13.2	F	鋼製ラーメン式	－	B P 沓	場所打杭
				P13	11.0	M	柱式	－	B P 沓	場所打杭
				P14	12.2	M	柱式	R C 巻立	B P 沓	場所打杭
金谷第2 高架橋 Bランプ橋	ラン プ	I～IV H8.12 VH2.2	PC3径間連続 ラーメン橋 L=241.0m	A1	6.5	M	逆T式橋台	－	ゴム支承	直接基礎
				P1	33.5	F	柱式	－	－	直接基礎
				P2	26.1	F	柱式	－	－	直接基礎
				A2	6.5	M	逆T式橋台	－	ゴム支承	直接基礎
大帷子 高架橋	上下	I～V H2.2	鋼3径間連続変断面箱桁橋 L=198.5m	A1	7.8	M	逆T式橋台	－	A1、A2：	深礎杭
				P1	24.7	F	壁式	－	ヒョットロー	場所打杭
				P2	19.1	F	壁式	－	－支承	場所打杭
				A2	6.3	M	逆T式橋台	－	P1、P2： ヒョット支 承	深礎杭

支承条件：M＝可動、F＝固定

## 2－4 現地踏査

受注者は、契約締結後、貸与する既存資料を確認したうえで現地を踏査し、本業務に必要な現地の状況を把握しなければならない。なお、現地踏査の結果、現地状況が既存資料と相違している場合及び変状が著しい場合には、速やかに監督員に報告するものとする。

現地踏査については地上又は既設点検路等を使用するものとするが、現地条件等により足場や高所作業車、交通規制等が必要となった場合は、監督員と協議し、その費用について別途協議するものとする。

現地踏査の検測数量は、一式とする。

## 2－5 腐食減肉調査

腐食減肉調査とは、参考図に示す位置において、調査要領 第二編橋梁 第2章鋼「1-3-2 調査方法（2）腐食減肉」に基づいて調査し、その結果を取りまとめることをいう。なお、現地作業についてはNE XCO東日本で実施する夜間通行止め期間内に橋梁点検車にて調査するが、現地条件等により足場や高所作業車、交通規制等が必要となった場合は、監督員と協議し、その費用について別途協議するものとする。

調査箇所は下表のとおりとし、検測数量は調査した箇所数（箇所）とする。



橋梁名	調査場所	箇所	調査範囲(m2)	調査条件
大帷子高架橋	千葉県富津市	8	0.72	夜間

## 2-6 維持修繕設計

### 2-6-1 支承

維持修繕設計 支承とは、損傷により取替もしくは補修が必要な支承について、共通仕様書7-3-3(1)橋梁附属物設計に示す設計内容を「設計要領第二集（橋梁保全編）」に基づき実施することをいう。この設計には、支承取替もしくは補修に必要なすべての設計計算、図面作成、数量計算を含むものとする。支承の設計の検測数量は設計を行った支承線の箇所数（箇所）とする。

(1) 対象橋梁及び種別 対象橋梁及び設計の種別は下表のとおりとする。

対象橋梁	上下区分	下部工No.	数量	設計区分	適用区分	関連する内訳書の種別	備考
金谷第2高架橋 Bランプ橋	ランプ	A2	1	詳細設計	基本となる設計	支承	ゴム支承の劣化

(2) 設計計算

支承の設計計算は、共通仕様書7-3-3「設計内容」の関連項目に準ずるものとする。なお、貸与される既存資料より設計に必要な既設橋梁の支点反力等の条件を別途算出する必要がある場合や、既設橋梁の照査結果より上下部工の補強が必要な場合、支承取替用のブラケットやベントの設計が必要になった場合の費用については、監督員と別途協議するものとする。

また、支承アンカー部照査を行い、支承縁端において必要な強度を確保することとする。

照査は「道路橋示方書IV8.6」により行うものとし、照査を満足しない場合は、縁端拡幅等が必要となるため、その検討に要する費用は別途監督員と協議するものとする。

(3) 支承取替時の既設支承の照査

施工時には既設支承を取り除くことにより、橋梁全体として支承個数が減少することとなる。鉛直力についてはジャッキで支持しているが、ジャッキには水平力支持機構が無いため、残っている支承で水平力を支持することが可能であるか照査を行わなければならない。格子解析を追加する場合は、その費用について別途監督員と協議するものとする。

照査は建設時の道路橋示方書と同等の設計水平震度により算定した水平力により行うこととして良い。

なお、照査を満足しない場合は別途仮設の固定装置を設けるものとし、その検討に要する費用は別途監督員と協議するものとする。

(4) 図面作成

支承の図面作成は共通仕様書7-3-3「設計内容」の関連項目に準ずるものとする。なお、設計図面の範囲及び内容は下表によるものとする。

構造区分	内容
一般図	設計橋梁一般図に設計条件、施工位置等の必要事項を記入
詳細構造図	当該設計に係わるすべての構造詳細図及び使用材料表

### 2-6-2 鋼桁補修

鋼桁補修の設計とは、「設計要領第二集（橋梁保全編）」に基づき、既設部材の変形や発錆による部材の減肉などの損傷の補修または取替を行うために必要な設計をいう。鋼桁補修の設計の検測数量は箇所数（箇所）とする。

(1) 種別

種別は下表のとおりとする。

種別	内容	設計区分	備考
鋼桁補修	炭素繊維シート接着補修、当て板補修、切断等鋼部材の部分取替、鋼部材の全取替に必要な設計	詳細設計	

(2) 対象橋梁

対象橋梁	上下区分	下部工No.	数量	損傷範囲
大帷子高架橋	上下	P 1 ～ P 2	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G1(外) (5/11) 下フランジ 1.2m*0.1m</li> <li>・ G1(外) (6/11) 下フランジ 0.9m*0.1m</li> <li>・ G1(外) (6/11) 下フランジ 0.6m*0.1m</li> <li>・ G1(外) (6/11) 下フランジ 0.5m*0.1m</li> <li>・ G1(外) (7/11) 下フランジ 2.0m*0.1m</li> <li>・ G1(外) (7/11) 下フランジ 1.0m*0.1m</li> <li>・ G1(外) (7/11) 下フランジ 0.6m*0.1m</li> <li>(添接板ナット 2/6本含む)</li> <li>・ G2(外) (3/11) 下フランジ 0.4m*0.1m</li> </ul>

(3) 設計計算

鋼桁補修の設計計算は共通仕様書 7-3-3 「設計内容」の関連項目に準ずるものとする。

なお、構造変更を伴う設計及び構造変更に伴い設計計算が必要となる場合は、その費用について監督員と別途協議するものとする。

(4) 図面作成

鋼桁補修の図面作成は共通仕様書 7-3-3 「設計内容」の関連項目に準ずるものとする。

なお、設計図面の範囲及び内容は下表によるものとする。

構造区分	内容
一般図	設計橋梁一般図に設計条件、施工位置等の必要事項を記入
詳細構造図	当該設計に係わるすべての構造詳細図及び使用材料表

2-6-3 施工計画

施工計画とは、現地踏査の結果を基に、本特記仕様書 2-6-1 「支承」を施工するために必要な施工計画を立案するものをいい、内容は下表のとおりとする。施工計画の検閲数量は橋数（橋）とする。

項目	内容	備考
進入路計画	工事箇所までの材料搬入等工事用車両の進入に関する計画の立案	簡易舗装または敷鉄板等の有無
仮設計画	足場等の仮設構造物計画 トラッククレーン、高所作業車等の施工機械配置計画 施工ステップの立案 ※施工時に一般道の交通規制が必要な場合は、路肩及び車線規制、固定規制等交通規制に関する計画の立案	支承

(1) 対象橋梁

対象橋梁	数量	地形条件	計画の複雑化	備考
金谷第2高架橋 Bランプ橋	1	山地部	単純	橋梁耐震補強設計を準用

## (2) 図面作成

施工計画の図面作成の範囲及び内容は下表のとおりとする。

構造区分	内容	備考
進入路計画	既設橋梁一般図または平面図に進入路の位置、幅員等を記入 ※施工要領図に記入した場合は不要	
施工要領図	仮設構造物及び施工ヤードを記載した平面図、側面図、施工ステップ等の作成	
交通規制図	①既設橋梁一般図または平面図に交通規制位置図、作業帯、施工機械等を記入 ②交通規制一般図	

## 2-7 工事発注用図面作成

### 2-7-1 既存図面電子化

既存図面電子化とは、既存の手書き図面（T I F F）を電子化（C A Dデータ化）することをいう。

既存図面電子化の検測数量は枚数(枚)とする。

橋梁名	図面名	枚数	備考
坂戸市場高架橋	橋脚詳細図	4	
	マンホール詳細図	1	
神納橋	橋脚詳細図	4	
神納高架橋	橋脚詳細図	2	
金谷第2高架橋 Bランプ橋	橋梁一般図	1	
合 計		12	

### 2-7-2 図面修正A

図面修正は共通仕様書5-11-1「図面修正」に基づき、変状のある橋梁の鋼部材について「設計要領第二集（橋梁保全編）」に基づいて補修方法を選定し、工事発注のために必要とされる補修項目について設計し、図面修正を行うものとする。また、本業務にて設計した補修を施工するため、耐震補強工事にて設置予定の足場について図面修正を行うものとする。図面修正に併せて、「土木設計数量算出要領」に基づき、数量算出も行うものとする。

図面修正の種別及び設計内容は、下表のとおりとし、図面修正の検測数量は枚数(枚)とする。

橋梁名	図面の区分	図面の修正率	設計内容	数量
坂戸市場高架橋	比較的複雑な図面	10%未満	ボルト補修	4
			マンホール補修	1
	比較的簡易な図面		足場図面修正	4
神納橋	比較的複雑な図面	10%未満	部分塗替塗装	4
	比較的簡易な図面		足場図面修正	3
神納高架橋	比較的複雑な図面	10%未満	部分塗替塗装	2
	比較的簡易な図面		足場図面修正	1
合 計				19

## 2-8 設計協議図面作成

設計協議図面作成とは、共通仕様書5-5-4「詳細図作成」の規定により、工事実施に必要な関連機関との設計協議等に必要の概略な図面等を作成することをいう。なお、協議に伴う資料の追加に関する費用については、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。

設計協議図面作成の検測数量は枚数（枚）とする。

橋梁名	図面名	枚数	備考	区分
金谷第2高架橋 Bランプ橋	協議図面	1	・千葉県警察 高速道路交通警察隊：施工計画図 ・千葉県富津警察署：施工計画図	普通
大帷子高架橋	協議図面	1	・鋸南町：施工計画図	普通
合計		2		

## 2-9 設計打合せ

本業務における打合せの回数は現地踏査、業務内容確認検査及び完了検査を含め、8回とする。打合せ場所は、東日本高速道路株式会社関東支社東京湾アクアライン管理事務所とする。打合せの検測数量は、1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても、打合せ費用の変更は行わないものとする。なお、完了検査はWEB方式により行うものとする。ただし、WEB方式による実施が困難な場合は、対面方式による実施については、別途監督員と協議するものとする。

## 2-10 交通費

### 2-10-1 交通費（腐食減肉調査）

交通費（腐食減肉調査）には、腐食減肉調査に必要な交通費を含むものとする。なお、設計項目及び数量が増減しても、交通費の変更は行わないものとする。

### 2-10-2 交通費（現地踏査・設計打合せ）

交通費（現地踏査・設計打合せ）には、現地踏査及び設計打合せに必要な交通費を含むものとする。なお、設計項目及び数量が増減しても、交通費の変更は行わないものとする。WEB方式にて実施する場合の完了検査の交通費の費用は計上しないものとする。なお、協議により完了検査がWEB方式から対面方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と協議するものとする。

## 2-11 成果品

### 2-11-1 標準提出部数

成果品の標準提出部数は共通仕様書1-46-5「標準提出部数」によらず下表のとおりとする。

報告書及び図面の電子データについては、監督員に提出するものの他にそれぞれ1部を監督員の指示に従って、NEXCO総研技術情報課へ提出し、NEXCO総研の発行する成果品（電子データ）受領票の交付を受けなければならない。なお、NEXCO総研技術情報課への提出は郵送で行うものとし、成果品（電子データ）受領票については、NEXCO総研より電子メールにより受注者へ送付されるものとする。

工事発注時貸与用電子データとは、報告書及び電子データに対して、個人情報や概算工事金額などの当該工事発注に関係しない非公表等の情報を編纂又はマスキングを行って電子媒体を作成するものである。工事発注時貸与用電子データの作成にあたり、編纂又はマスキングを行う箇所は監督員と協議するものとする。

項目	監督員	N E X C O 総研	工事発注時 貸与用電子データ	備考
報告書(紙)	1 部	—	—	
報告書(電子データ)	2 部	1 部	1 部	
図面(紙)	1 部	—	—	
図面(電子データ)	2 部	1 部	1 部	報告書(電子データ) と併せて提出

## 2-11-2 成果品一覧

本業務の成果品は、下表のとおりとする。

種別・項目	成果品項目	出力時の縮尺 (分の1)	出力用紙 の大きさ	提出 部数	適用
腐食減肉調査	調査結果報告書	—	A 4	1	製本
支承	支承補修図	適宜	A 3	1	
鋼桁補修	鋼桁補修図	適宜	A 3	1	
既存図面電子化	橋梁一般図	5 0 0 ~ 1 3 0 0	A 3	1	
	橋脚詳細図	3 0	A 3	1	
	マンホール詳細図	1 0	A 3	1	
図面修正 A	ボルト補修図	適宜	A 3	1	
	マンホール補修図	適宜	A 3	1	
	部分塗替塗装詳細図	適宜	A 3	1	
	足場修正図面	適宜	A 3	1	
数量計算書	数量計算書	—	A 4	1	製本
施工計画	施工計画検討結果報告書	—	A 4	1	製本
	施工計画図	適宜	A 3	1	

## 2-12 業務の変更及び追加について

次に示す事項について、関連する業務の設計内容を変更及び追加する可能性がある。これら設計の実施及び係る費用については監督員と別途協議するものとする。

- (1) 現地踏査の結果による追加調査並びに補修設計
- (2) 新たに発生した損傷箇所の追加調査並びに補修設計
- (3) 施工に伴い不要または支障となる排水管、既設検査路、通信管路等の撤去・移設・再設置に必要な図面作成および数量算出
- (4) 既存図面電子化及び図面修正、設計協議図面作成の数量変更
- (5) 鋼材腐食の原因に対する対応策の検討並びに補修設計

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 関東支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 東京湾アクアライン管理事務所管内 橋梁補修設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

## 1 設計業務

(全体履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)  
(実履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

[illegible]

## 2 関連業務資料

[illegible]

### 3 貸与資料

[illegible]

#### 4 關係機關協議

[illegible]

#### 4 その他懸案事項

[illegible]

## 5 協議內容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成上のポイント(記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を確認の上作成すること)

- ① 適切な工程管理・履行期間の確保を図るとともに、留意とする。
- ② 関連する業務プロセス設計等により関係機関・関係者による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間に及ぼすことがないよう、資料入手・条件提示・対外協働の期定を明確化する。
- ③ 協議時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、期定を時期、内容に工程上の遅れがないよう確認する。
- ④ 照査の時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した照査作業が実施されていると確認する。
- ⑤ 本工程表は作業計画書に添付することにより、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計上の防犯、品質の確保を図る。

⑥ なお、本書式は固定のものではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用すること。

⑤ ない、半音式は  
とを基本とする。

- ※作成時の留意事項
- ① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと
  - ② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。
  - ③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

## 6 照查内容

照査時期、照査内容、照査結果	<p><b>照査①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：基本条件、設計条件検討時</li> <li>・照査内容：基本条件の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>	<p><b>照査②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：設計方針、最終形式案決定時</li> <li>・照査内容：細部条件の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>	<p><b>照査③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：成果品納入前</li> <li>・照査内容：成果品の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>
----------------	---	--	--

※作成時の留意事項

- ① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと
- ② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。
- ③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

監督員 \_\_\_\_\_ 殿

受 注  
管理技術者 \_\_\_\_\_ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路(株) 関東支社 東京湾アクアライン管理事務所		
調 査 等 名	東京湾アクアライン管理事務所管内 橋梁補修設計		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。